



私の心に響いた言葉



国	籍	ベトナム
職	種	そう菜製造業
実習実施者		株式会社グルメサービス
監理団体		福岡食品関連協同組合

チャン ティ フーン
TRAN THI PHUONG

私は23歳で日本にきました。目的は家族両親を助けたい、姉弟の教育代を少しでも手助けしたいという思いと自分の将来を大切にしたいという気持ちで日本に行くことを決心しました。当初、両親は小柄な私が異国の地で仕事ができるのか心配していましたが、私の気持ちを尊重し日本に行くことに賛成してくれました。

日本にきた時は本当に大変なことばかりでした。ベトナムと日本の気候は全然違い私は気候が全く合わず全身の痒みが一晩中続くことが何日も続きました。当然来日したばかりですので日本語が話せず、文化にも慣れず、食べ物もほとんど口に通りませんでした。そんな日々でも仕事は早く覚えなれないといけない大変な日々が続きました。自分は他の実習生よりも弱いなあと自分自身にがっかりしていました。気持ちと身体が同じ方向に進んでおらず辛い毎日でした。

ある日、そんな日々を過ごす私を見てか社員の方が私に向かってこう言いました。「心が変われば行動が変わる」「行動が変われば習慣が変わる」「習慣が変われば人格が変わる」「人格が変われば運命が変わる」と良い言葉だから後で調べてごらんと言われました。私は紙に書き

て書き仕事を終え家に帰ると同時にすぐに言葉の意味を調べ理解し感銘を受けました。お礼の電話をすると「毎分毎秒、あなたの人生は貴重です。あなたが努力しなければあなたの毎日は退屈なものになります。苦労している人が沢山いてあなたよりもっと大変な思いをして乗り越えている人が居ます。だからあなたが今出来ることは頑張ること。結果は後からついてきます。」と言われました。

その時から私は変わりました。挫折しかかった時には感銘を受けた言葉を思い出し自分を奮い立たせ頑張ってきました。

その結果、会社の社員さんに認められ実習生の中のリーダーを任せられました。今では当事の事が非常に懐かしく思います。今年で日本に来て5年、最後の年になりました。5年の間に得たものもたくさんありましたが、失ったものもたくさんあります。祖父に別れを言う機会、家族との集いなどです。

私にとって日本はいつもピンク色という訳ではありませんが、たくさんの事を私に教えてくれます。残り少ない日本での生活を一分一秒時間を無駄にせず大切に過ごして行きたいと思います。